

陸前高田市立小友中学校

2014年 12月 16日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学教育学部)

【文献】

- (1) 「saveMLAK」博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の被災・救援情報 <http://savemlak.jp/wiki/saveMLAK>
- (2) 「陸前高田市東日本大震災検証報告書:資料編」陸前高田市
<http://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/kategorie/bousai-syoubou/shinsai/shiryou.pdf>

【場所】

門之浜湾から約1km、広田湾から約1.3km
の位置にある。

住所:岩手県陸前高田市小友町柳沢48-2

※現在は閉校し、別の学校と統合された。



【東日本大震災による被害】

津波により校舎1階天井まで浸水し、全壊した。(1) ※現在、校舎は取り壊されている。

【震災当日の様子】

地震発生5分後に停電したため、残っていた生徒12人に「慌てないで、校舎の外に避難しなさい」と大声で指示し、校舎内にいた教職員と生徒で地震により閉鎖した防火扉をくぐり、校庭に避難した。小雪が舞っていたので「防寒着を取ってくるように」と指示した。

14時55分頃、小友小学校に移動し、小友小学校の関係者と合流した。15時34分頃、只出方面(南東)から襲来する津波を確認したため、校門を出て旧国道45号を横断し、宮崎神社の社務所脇の竹林を駆け上がり松林の中へ避難した。この時、只出方面(南東)からの3~4mの津波と三日市方面(西)からの10mを越す津波がぶつかり合い、小友浦の水田地帯が水没した。15時50分頃に松林の中で点呼を行い、柳沢地区の高台へ移動した。16時10分頃以上の坊公民館に移動し、迎えに来た保護者へ生徒を引き渡した。(2)

【調査して言えること】

学校の標高は10mほどあるが、門之浜湾(東方)から約1km、広田湾(西方)から約1.3km、大野湾(南方)から1.5kmと複数の湾に囲まれた入り組んだ地形の場所にあり、地震の際に高い津波が起こる危険性のある、高台への避難の必要のある学校である。また、小友小学校と隣り合った場所にあるが、小友小学校は嵩上げされており小友中学校よりも標高が高くなっている。

学校の周囲には高台や山があり、震災の時に避難した宮崎神社の社務所脇の高台は中学校から見て北西にあり、斜面を500mほど上がると標高約40mに上がることができる。また、最後に避難した上の坊公民館へは三次避難をした高台から見て北に200mほどの距離で、標高は40m以上あり、どちらの高台も安全な避難場所である。以上のことから、学校外への避難がしやすい学校である。



西から見た学校敷地跡(2014/3/17撮影)

※校舎は取り壊されており、校門が残っている。



南から見た学校と避難した山(2014/3/17撮影)